## [投稿] 「ゆっとボランティアとして想うこと」

「諏訪町のイメージは?」諏訪町以外の市内在住の数人に聞きました。

「八国山があって緑が多い、地味、お年寄りが多い、活気が無い・・・」はてさて、このイメージはどうでしょうか。住んでいる者にとって、とても残念なことです。

でもみなさん、それが見事に覆されるかもしれません。「諏訪町ゆっと」が生まれたからです。

こんな小難しい世の中で、よくぞ生まれてくれました!さて、あとはせっかく出たこの芽をどう育てていくかです。キーポイントは「私には関係ない」ではなく「私にも大いに関係あり!」です。自分自身のためでもあるという意識こそが「ゆっと」の肥料となるのです。

ところでみなさん、最近笑っていますか?

眉間にしわを寄せながらでは「ゆっと」は育ちません。思い切りの笑顔で育てて行きましょう。もしかしたら「諏訪町に住んでるなんてうらやましい~」「住むなら諏訪町」と言われる日も、 そう遠くないかもしれませんよ。

(諏訪町2丁目 真野 朋子)

#### [平成23年度「諏訪町ゆっと」の活動について]

4月13日に開催された運営委員会において平成23年度の活動について話し合いました。

#### ①活動及び運営の方針

「ゆっとボランティア」の活動は、会則第3条(活動)に謳う、近隣に住む高齢者に対する目配り・気配り、声掛け等の見守り [以下省略] とし、「ゆっと運営委員会」の活動は、ゆっとのPRおよびボランティア増強に重点を置く。具体的な活動は下記の部会を中心に展開する。また、両部会のメンバーを会員等から募り、活動の活性化を図る。

#### ②広報部会活動計画

広報紙「諏訪町ゆっと」を年4回(4,7,10,1月)発行すると共に広報用ポスター等の作成を行う。

## ③交流部会活動計画

ボランティア会員間および地域住民との交流や研修のため、交流会を企画・開催する。開催 月は、7,1月の年2回とする。

#### 【編集後記】

早いもので、昨年4月に「諏訪町ゆっと」が誕生して1年を迎えました。少しずつではありますが、着実に活動の輪が広がっていることを実感しています。広報紙第2号が完成いたしましたので、お届けいたします。

今回の紙面では、初めて、ボランティアの方からの投稿を掲載させていただきました。今後もこのように会員の皆様の声を反映した内容としていきたいと思いますので、皆様の声を事務局までお届けいただきますようよろしくお願いいたします。合わせて、広報・交流の両部会では部会員を募集しておりますので、そちらの方へのご協力もよろしくお願いいたします。 (担当 鈴木)

【事務局】東村山市社会福祉協議会 まちづくり支援係 (TEL042-394-6333)

### 高齢者あんしん見守りネットワーク広報紙

# 調節節のと

発行日 平成23年4月吉日 第2号 発 行 『諏訪町ゆっと』運営委員会

3月11日 午後2時46分に発生した「東日本大震災」により被災された皆様に は心よりお見舞いを申し上げます。皆様の安全と一日も早い復興をお祈り申し上げ ます。 『諏訪町ゆっと』運営委員一同

# 第1回「諏訪町ゆっと交流会」が開催されました

去る平成23年2月26日(土)第1回 「諏訪町ゆっと交流 会」が福祉センターにて開催されました。当日は晴天に恵まれ予

想を上回る40名を超える方々にご参 [ 加いただきました。

最初に運営委員長からのあいさつの 中で、この1年間の活動について振り 返りがありました。





司会の高橋さん

その後、第1部では、東村山市北部地域包括支援センター看護師黒巣 照美さんを講師に「認知症サポーター養成講座」を行い、認知症とはどのような病気なのか?そして接し方のコツなどについての説明に対して、みなさん興味深くお聞きになっていました。



講師の黒巣さん

(皆様には、受講の証としてオレンジリングが配られました。)



オレンジリング

続いて行われた第2部では、活動報告として、これまでに7回オリエンテーションを実施し、登録が99名であること、専門相談機関への相談が3件あったこと等1年間の「ゆっとボランティア」登録状況等が報告されました。そして、事例報告の後グループに分かれての情報交換等を実施いたしました。

情報交換の中では、「町内の横の連携を作っていきたい」という力強い声や、

「**徘徊をしている方のお世話をどうすればよいか?**」といった素朴な疑問など様々な内容で活発な話し合いがなされ時間が足りないくらいでした。平成23年度も引き続きこのような交流会を実施していきたいと考えておりますので、その節はぜひ積極的にご参加頂きますよう、よろしくお願いいたします。